

学校活動、本格再開！



生徒活動も本格化～生徒会総会開催



新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、四月二十一日から続いていた一斉臨時休校要請が解除され、六月一日（月）から、感染予防に配慮しつつ通常の学校活動が再開されました。一ヶ月以上に及ぶ、しかも全国規模での休校は、学校教育にとってまさに緊急事態と呼ぶべきものでした。学校活動の本格的な再開を受け、学校活動が当たり前に学校でできることの大切さを再認識するとともに、これからのあるべき学校活動についても模索を続けていきたいと思います。

長高だより

第332号
2020.7.1

発行者
長沼高等学校
Tel : 67-2185
Fax : 67-2493

<https://naganuma-h.fcs.ed.jp/>



生徒会の皆さんにとっては、時間のない中急ピッチでの準備作業となったと思います。お疲れ様でした。「生徒会」という名前のとおり、生徒一人ひとりが活動に責任を持っていることを自覚して、充実した活動をしていきましょう。

予定どおりならば、五月上旬に開催していた生徒会総会でしたが、休校となり実施できませんでした。生徒会総会は、部活動や委員会活動のための予算審議をはじめ、生徒活動に関する意見交換の場として非常に重要な議決機関です。六月から学校活動が本格的に再開するにあたり、少しでも早く活動を軌道に乗せようと、今回は書面による決議方式を採用しました。一日（水）には、各学年・クラス単位で生徒総会資料の説明を行いました。提出のあった意見や委任状などをもとに、本年度の活動方針が確定します。



□ 部活動も、少しずつ日常へ □

六月一日（月）の学校活動の本格再開から遅れること一週間、八日（月）から部活動も再開されました。

開始当初は、活動時間等にも制限がある中での活動となりますが、校内のあちらこちらで活発な声が聞こえていました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、インターハイをはじめとするほとんどの運動部の公式戦が中止となるほか、合唱や吹奏楽などのコンクールも中止となっています。負けて悔しい思いをした生徒の多くが、次の大会で取り返そうという気持ちで努力してきたと思いますが、その機会を得ることはできませんでした。半年前に、このような事態になると予想していた高校生はいなかったと思います。

「予想外」は、いつでも、誰にでもふりかかるということを忘れず、今できることは先延ばしにせず、毎日を大切に過ごして欲しいと思います。



■防火避難訓練

五月二十八日（木）の総合的な探究の時間に実施しました。緊急放送の使用についても演習を行いましたので、近隣の皆さまにはご迷惑をおかけしましたが、おかげさまで滞りなく進行できました。ありがとうございました。

事後の講話では、校長から、①真剣に訓練に参加する姿勢が生きる力を育てる
②社会で生きる力を育てるために、六月からの学校生活の中で言われたことをしっかりとやり切る
③自分が嫌だと思うことは友人にやってはいけない、クラス活動を充実させようとの言葉がありました。

昨今はコロナウィルス感染に対応するため、避難のありかたをいろいろと検討している自治体もあります。また、最近全国各地で震度三〜四規模の地震が頻発しています。「練習は試合のように、試合は練習のように」という言葉のとおり、常に緊張感を持って取り組んでほしいと思います。



▲自分の命を守るために、真剣に取り組みましょう。

■衣替え



六月一日から衣替えとなりました。夏の装いに身を包んだ生徒の皆さんが次々に登校してきました。六月一日・二日の二日間実施した服装指導・挨拶運動には、生徒会役員なども参加してもらいました。

進学先・就職先が求めることを普段からできていれば、本番で自分を取り繕う必要はありません。だから緊張もしません。普段から制服をしっかりと着こなすこと、挨拶を忘れないこと、時間を守ることなど、これらを習慣づけることが大切です。

風紀委員長 2-B 大内力哉くん

初めて服装指導に参加して、今年入ってきた一年生は初めての衣替えなので、正しく制服が着用できているか心配していました。服装が乱れている人がいなかったのが安心しました。

■美化活動

約一ヶ月を超える休校が続いた影響は、校舎内外に感じられます。使用していなかったグラウンドにも、雑草が目立つようになっています。四日（木）、本格的に訪れる夏を前に、少しでも学習環境を整備しようと、三年生が「総合的な探究の時間」を活用し、校地内の草むしりなど美化活動に取り組みました。

「整った学習環境」は、生徒一人ひとりの心がけがあれば自然にできあがるものです。服装・頭髪を整える、時と場合・相手の気持ちを考えた言動を取る、私物の管理をしつかり行う……一人ひとりが安心して活動できる環境をみんなの力で作っていきましょう。



■ご支援に感謝

① 長沼地域ご出身の方

現在県外にお住まいの当地出身の方から、地域の児童生徒の感染対策に役立てていただきたい、との厚意で長沼市民サービセンタ―様宛にお送りいただいたものを、本校にも寄贈いただきました。

② 長沼商工会様

長沼商工会会長はじめ二名の方が来校され、「本校の教育活動に役立てていただきたい」との厚意で寄贈くださいました。



▲長沼商工会会長とともに取材を受けました。

本校生徒を代表して、生徒会長・副会長が受領しました。

感染防止対策のために有効に活用させていただきます。高年生の立場から感染の収束に向け、第二波、第三波の流行を防ぐために力になりたいと思います。どうもありがとうございました。

関係の皆さまのご厚意に感謝いたします。